**笹川杯争奪第10回全九州少年少女空手道選手権大会　兼**

**全日本少年少女空手道九州地区選抜大会**

１．大 会 名　 笹川杯争奪　第10回全九州少年少女空手道選手権大会　兼

**全日本少年少女空手道九州地区選抜大会**

２．主　　催　 全日本空手道連盟九州地区協議会

３．共　　催　 （一社）福岡県空手道連盟・（一社）長崎県空手道連盟・（一社）佐賀県空手道連盟・

（一社）熊本県空手道連盟・（一社）宮崎県空手道連盟・（一社）鹿児島県空手道連盟・

沖縄県空手道連盟

４．後　　援　 公益財団法人全日本空手道連盟　大分市　大分県教育委員会　大分市教育委員会

公財）大分県スポーツ協会　大分合同新聞社　テレビ局　予定

５．主　　管　 一般社団法人 大分県空手道連盟

６．場　　所　 レゾナック武道スポーツセンター　　大分県大分市横尾１３５１　℡ 097-520-0800

７．日　　時　 **令和６年１０月１９日（土）～２０日（日）**

|  |  |
| --- | --- |
| **19**日【１日目】 | **20**日【２日目】 |
| 選手受付　　12:00～ | 選手受付　　 8:00 |
| 審判会議　　12:00～ | 競技開始　　 9:00　個人組手（予選） |
| 監督会議　　12:30～ | 　　　　　　　　　 個人形　（決勝） |
| 開会式　　　13:20～ | 　　　　　　　　 　個人組手（準決勝 決勝） |
| 引続き競技開始　　個人形（予選） | 　　　　　　 |

８．種　　目　　個人形・個人組手：小学１～６年生の男子・女子

９．参加人数　　学年別、個人戦は男女別それぞれ４名を各県代表選手とする。登録選手の変更は認めない。参加人数は監督・コーチを含め次表のとおりとする。なお、同一選手の形、組手の両方の出場を認める。地元開催枠を各種目２名の出場を認める。但し、地元枠選手の九州地区協議会議長杯ポイントは除外する。

**※第２４回全日本少年少女空手道選手権大会にて上位３位以内は、特別枠として出場を認める。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 各　県 | 形　 競 　技 | 組　手　競　技 |
| 選　手 | 男子 | 個人 | 小１~６ | 各４名 | 計２４名(地元枠２名) | 小１~６ | 各４名 | 計２４名(地元枠２名) |
| 女子 | 個人 | 小１~６ | 各４名) | 計２４名(地元枠２名) | 小１~６ | 各４名 | 計２４名(地元枠２名) |
| 監　督 | １名 |
| コーチ | ７名以内（内１名は練習会場担当者とする） |
| 総人数 | １０３名＋地元枠（４８名）＋特別枠 |

10．競技規定

　　１）競技は、令和６年度 公益財団法人全日本空手道連盟〈空手競技規定〉により行う。

　　２）形競技 個人戦

　　　　　　**形競技は１～３ラウンドによるプール方式にて行う。第１ラウンドの上位８名が第２ラウンド進出。**

**第３ラウンド（決勝ラウンド）は第２ラウンド各グループ上位４名、計８名により行う**。

　　　　(ア) 全競技得点方式で行う。第１、第２ラウンドは審判５名で、２名同時に行い、決勝ラウンドは審判７名で１名ずつ演武する。

　　　　(イ) 第1ラウンドは、基本形とする。

　　　　(ウ) 第2ラウンドは、第1ラウンドで使用していない基本形、もしくは第1指定形とする。

　　　　(エ) 第3ラウンド（決勝ラウンド）は、第1指定形，第2指定形，基本形から選択し第1ラウンド、

第2ラウンドで 使用した形を繰り返してもよい。

　　　　(オ) コートへの入場は決勝ラウンドを除き、時間短縮のため直接形開始位置へ進み演武する。

　　３）組手競技 個人戦

　　　　（ア）トーナメント方式で行い３位決定戦は行わない。

　　　　（イ）決勝戦は各コートにおいて競技する。

　　　　（ウ）競技時間は１分３０秒フルタイムとする。

　　　　（エ）勝負は、競技時間内に６ポイント差が生じた場合、あるいは反則・棄権・失格、又は競技終了時に得点の多い選手を勝ちとする。競技時間終了時に先取点が無い場合は、「判定」により勝敗を決する。

　　　　（オ）12歳以下（カデットル－ル）を適用する。

　　４）組手安全具

　　　　（ア）組手全種目に拳サポーター（全空連検定小学生用赤・青リバーシブル拳サポーター）、全空連検定メンホー及びボディプロテクター、全空連検定小学生用インステップガード及びシンガードを着装すること。なお、これらの安全具は選手各自において用意すること。

　　　　　　　マウスシールド着用は任意とし、使用する場合はミズノ製とする。

　　　　（イ）小学３～６年生男子組手出場選手は、必ずファールカップを着装すること。

但し、１、２年生は所属の指導者（監督・コーチ）の判断に委ねる。

　　　　（ウ）安全具着装のない選手は出場できない。

　　５）服 装

　　　　（ア）監督・コーチは半袖・ネクタイ着用し必ず靴を履くこと。

**※審判員との区別を明確にするため、審判員と異なるネクタイを着用すること。**

監督・コーチ用ＩＤカードを着用すること。

（イ）選手は、競技規定にそった清潔な白の空手衣を着用すること。なお、左胸に県名を入れること。

※　過去の全国少年少女大会のエンブレムその他これらに類するものは全て外すこと。（道着その

他の点検については召集時に行う）

　　（ウ）金属類のヘアバンド、ヘアピン等の使用は一切認めない。

　　　　（エ）青帯・赤帯は各自全空連で検定された帯を用意し着用すること。主催者では用意しない。

11．表 彰

　　１）九州地区協議会議長賞の授与

　　　　総合得点の最上位の県に対し､九地協議長賞及び賞状を授与する。得点及び順位決定は次による。

　　　　（ア）国体方式に基づき、各種目の入賞者に次の得点を付与する。

　　　　　　　形　：・１位　８点　・２位　７点　・３位　６点　・４位　５点　・５位　４点

　・６位　３点　・７位　２点　・８位　１点

　　　　　　　組手：・１位　８点　・２位　７点　・３位　５点（２名）　・５位　２．５点（４名）

　　　　（イ）総合得点が同点の場合は、優勝者数の多い県に授与する。

　　　　（ウ）さらに同数の場合は全てを同点優勝とする。

　　２）組手、形ベスト８進出選手を次のとおり表彰する。

　　　　形　：優勝～８位まで各１名

組手：優勝１名・準優勝１名・第３位２名・第５位４名　**※対象となる選手は必ず表彰式に参加すること**。

12．審 判 員

　　　大会審判団は公益財団法人全日本空手道連盟公認審判員をもって次により編成する。

　　　各県は公認地区組手・形審判員（原則）以上の**審判員６名を派遣**すること。

13．安全対策

　　　出場選手が競技中負傷した場合は、主催者において応急処置を行うが、その後は個人の責任において、処理すること。また、出場選手は健康保険証を持参し、スポ－ツ安全保険に加入しておくこと。

14．出場資格

　　１）出場選手、監督及びコーチは、公益財団法人全日本空手道連盟会員であること。

　　２）出場選手は公益財団法人全日本空手道連盟公認段・級位取得者であること。

　　３）出場選手は、各県空手道連盟が選出した代表選手であること。

　　４）監督及びコーチは、公益財団法人日本スポーツ協会公認空手道コーチ１以上、及び地区公認審判員以上の

資格を有する者であること。

15．出場申込

　　１）出場費　　組手・形　１種目　１人　 ３，０００円

　　２）**申込み方法は別途定める。（後日連絡・オンラインを予定）**

　　３）出場費送金先（口座）は次のとおり

【参加費振込先】

GMOあおぞらネット銀行　法人営業部

普通1756778

一般社団法人大分県空手道連盟

16．申込期限　　**令和６年９月１３日（金）必着　【期日厳守】**

17．宿 泊 等

　　１）宿泊・交通費は自己負担とする。

　　**２）宿泊・弁当は主催者の指定する下記旅行会社を通して予約すること。**

**宿泊をされる方は必ずご利用をお願いします。**

　　　　別紙【宿泊・弁当申込書】に必要事項（後日送付）を記載のうえ直接、にお申し込み下さい。

　　　　【申し込み・問合せ先】

株式会社TEAM

18．そ の 他

　　１）ゼッケンは主管県で作成し、１０月上旬ごろまでに各県連宛てに送付するので、各県連において

　　　　査収のうえ、出場選手に配布のこと。なお、種目、男女別のゼッケン色分けは次のとおり。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 男子 | 女子 |
| 形　（個人） | 緑 | 青 |
| 組手（個人） | 黒 | 赤 |

　　２）出場申込書提出後の選手変更は認められない。（監督・コーチの変更も不可）

　　３）練習会場の利用・入室は監督・コーチ・選手のみとする。

　　４）参加チームは、必ず引率者を指名配置し、出場選手の掌握、荷物の管理等に当たらせ円滑な大会運営、事故

防止に協力すること。

　　５）大会会場には十分な駐車場がありますが、バス（マイクロ・大型など）の駐車を希望する方は、事前に調査用紙にてお申し出ください。

**11．肖像権の取り扱いについて**

**１）競技者及び指導者は、本大会への参加申込により、今大会の肖像権取扱いを承諾したものとします。**

**２）実行委員会及び会場地市町実行委員会又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新聞、雑誌、報告書及び関連ホームページ等で公開されることがあります。**

**３）実行委員会及び会場地市町実行委員会又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継、録画放映及びインターネットにより配信されることがあります。また、ＤＶＤ等に編集され、配付されることがあります。**

**４）その他、実行委員会等に許可を受けた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがあります。**

**【全少選抜選手選考等についての申し合せ】**

**個人形・組手・・・九州地区６名**

**団体形・組手・・・九州地区８チーム**

1. **個人組手における選抜選手**

**ベスト８の選手の内1位～3位の4名と準々決勝で優勝者に負けた選手を５番目、準優勝者に負けた選手を**

**６番目とし上位６名を選抜選手とする。**

**※繰り下げになった場合、残り２名での抽選とする。**

**② 形における選抜選手の優先順位**

**決勝ラウンド１～６位の６名を選抜選手とする。**

**繰り下げになった場合、決勝ラウンド７位・８位の選手の順で選抜する。**

**【総合得点計算】**

**全少入賞者枠、開催県枠による参加人数の差を解消するため以下の計算方法とする。**

**○申込時の各県の全少枠を優先とし１位～4位の選手を計算対象とする。また、**

**（例）：全少枠1名、県１位～4位の申し込みの場合、4位の選手を計算対象外とする。**

**※仮に4位の選手が入賞、それ以外の選手が入賞できなかった場合は総合得点に算入しない。**

**【シード】**

**シードは、その年の全少入賞者を第1シードとし、各県選抜の1位同士が当たらないように作成。**